

政治学専攻

Graduate School of Politics / Major in Politics

募集人員：修士課程 10名／博士後期課程 5名 | 開講形態：**昼間・夜間** (一部夜間開講) | キャンパス：市ヶ谷
主な進路：教育関連(教員)、公務、出版、商社、金融、進学(博士後期課程)など

今日の政治問題を 規範的かつ経験的に解明。

政治学専攻は、人間の共存の技術としての政治を、空間的な広がりや時間的な流れに留意しながら、規範的かつ経験的に研究するとともに、政治的現実に関与する実践をも担うことのできる人材の育成を目指している。この理念の下、第一に規範論的な研究を追求し、第二に、こうした規範論を踏まえつつ、具体的な現実政治に即した実証研究をも行う。すなわち、政治思想史・政治理論、政治史・政治過程論などのアプローチに複合的に取り組む。

アドミッション・ポリシー

(学生の受け入れ方針)

政治学専攻は、将来、市民社会の担い手、あるいは市民を起点とする政治学の研究者たりうる院生を求めている。修得しておくべき知識として、均衡のとれた規範的知識および実証的知識を期待している。

カリキュラム・ポリシー

(教育課程の編成・実施方針)

市民社会の担い手、研究者養成を主とする政治学専攻では、政治理論をはじめとする規範的な分野から、政治過程論をはじめとする実証的な分野まで幅広い科目を準備している。くわえて公務員・NGO・政治家などの実務家による講義も行われている。

ディプロマ・ポリシー

(学位授与の方針)

政治学専攻では、人間の共存の技術としての政治を、規範的かつ経験的に認識することのできる研究者の養成、および現実政治に関与することのできる市民的人間型の育成を教育目標としており、学位論文の形式要件等と併せて、この教育目標を基準に学位授与の方針を設定している。

研究室紹介 | 自治体を公共政策課題解決装置と把握し考究 地域社会の現実から理論や制度を考える

宮崎教授 | 自治行政制度・自治体政策・消防行政・自治体議会

ヒトは独りでは生命を維持し得ず、必ず社会を構成する。自治体の契機は、その領域性の断面に現れる。私はそう理解するが、かような考察を起点に置くだけで「通説」や「常識」と呼ばれる轍を外れる。「多数説」を学習することは大切だが、研究はより自由であって良い。ただし、目的および手段を誤ってはいけない。短期的利得の追求に身をやつした近年の世情の下で、地域社会には生活に関わる数多くの深刻な問題が発生した。せめて風潮に距離を置き、奥深い難問の真相究明に迫りたい。そうした問題意識を持って幅広い観点から公共政策課題への接近を試みている。

※本専攻には、このほかにジェンダー政治や政治過程論などのさまざまな分野を扱う研究室があります。



Voice



博士後期課程 2008年度修了
勤務先：福岡教育大学 教育学部 講師
谷本 純一

【研究テーマ】
政治思想史、知識人論

「知識人」と「エリート」との関係について分析し、 こうした概念そのものを止揚することの必要性を探究

私の研究

私の大学院博士後期課程における研究テーマは、「知識人」と「エリート」との関係について分析することでした。大衆社会状況における伝統的な「知識人」や「エリート」への不信任が高まる中、アントニオ・グラムシの思想を中心に両概念を分析し直し、大衆と「知識人」や「エリート」を単に対置するのではなく、こうした概念そのものを弁証法的に止揚することの必要性を論じました。

大学院の魅力

大学院の魅力とは、一言でいえば「深い探究」です。学部において自らが関心を持ったテーマを、さらに深めることができます。しかしそれだけに、自発的な研究活動が求められ、研究目標をその都度達成していくという態度が必要です。先生方も、有能かつ経験豊富な方々であり、指導教員が否かを問わず、研究の意志のある人には多くの援助を惜みず、指導いただけます。

専任教員と担当科目 (2016年度) ※年度により授業を持たない場合があります。 専 専門領域 研 研究テーマ 担 担当科目

衛藤 幹子 教授 専 ジェンダー政治、政策研究
研 女性の政治代表に関する国際比較研究、ジェンダーと市民社会、ジェンダーと民主主義
担 ジェンダー政治研究 1

河野 康子 教授 専 日本政治外交史
研 第二次大戦後の日本外交と国際環境
担 日本政治史研究 1/2 (2016年度限り)

関口 すみ子 教授 専 アジア政治思想史、ジェンダー論
研 江戸から明治に至る政治の変化とジェンダー・セクシュアリティの変遷との関連を東アジア・地球的文脈で見る
担 ※今年度は、特定の科目を担当しません

中野 勝郎 教授 専 アメリカ政治史・思想史
研 建国期の政治思想、戦後アメリカの保守主義
担 ※今年度は、特定の科目を担当しません

宮崎 伸光 教授 専 自治体学
研 自治行政制度・消防行政・自治体議会・自治体政策
担 政治学特殊演習 1/2 自治体研究 2 自治制度研究

山本 卓 教授 専 英国を中心とする福祉国家史、比較福祉国家
研 英国福祉国家の生成・発展・再編、福祉国家の国際比較
担 ※今年度は、特定の科目を担当しません

木村 正俊 教授 専 政治思想と国際政治、冷戦後の中東政治、国際政治学、現代中東政治
研 中東における脱植民地化、中東における国家形成と国際政治システムの形成・変容
担 ※今年度は、特定の科目を担当しません

杉田 敦 教授 専 政治理論
研 権力論、デモクラシー論
担 ※今年度は、特定の科目を担当しません

塚本 元 教授 専 現代台湾政治、近代中国政治外交史
研 現代台湾の選挙・中台関係
担 ※今年度は、特定の科目を担当しません

細井 保 教授 専 政治体制論
研 政治体制を制度と理念の両面から考察
担 政治制度研究 1/2

山口 二郎 教授 専 政治過程論
研 現代政治、議会政治、政党政治
担 政治過程研究 1/2

渡辺 浩 教授 専 日本政治思想史
研 「日本」に生きた人々の「政治」をめぐる思索・思い・感情の歴史 特に徳川時代と明治時代について
担 政治思想史演習 1/2 (2016年度限り)

設置科目 (2016年度) ※開講科目は年度により異なります。()内は単位数

<修士課程>

- 政治学特殊演習 1/2 (各2)
- 政治理論研究 1/2 (各2)
- 政治理論演習 1/2 (各2)
- 政治制度研究 1/2 (各2)
- 行政学研究 (2)
- 政治学研究 1/2 (各2)
- 日本政治史研究 1/2 (各2)
- 政治思想史研究 1/2 (各2)
- 政治思想史演習 1/2 (各2)
- 公共哲学研究 1/2 (各2)
- コミュニティ論研究 1/2 (2)
- フェミニズム研究 1/2 (各2)
- マスコミ研究 1/2 (各2)
- 公共政策研究 1/2 (各2)
- 国際刑事裁判研究 1/2 (各2)
- 政治過程研究 1/2 (各2)
- 行政理論研究 1/2 (各2)
- 政策学研究 1/2 (各2)
- 都市思想史 1/2 (各2)
- 権力論 (2)
- 政治と科学技術 (2)
- 政治権力論 (2)
- 比較政治論 1/2 (各2)
- 連帯社会とサードセクター (4)
- 立法学研究 1/2 (各2)
- 公共事業研究 1/2 (各2)
- 自治体研究 1/2 (各2)
- 行政改革研究 (2)
- 自治制度研究 (2)
- 公務員制度研究 (2)
- 都市政策特別セミナー 1/2 (各2)
- 高齢社会の政治と政策 1/2 (各2)
- 雇用・労働政策研究 (2)
- 政策法務論 (2)
- 防災危機管理研究 (2)
- 市民自治と憲法 (2)
- 情報政策研究 (2)
- ジェンダー政治研究 1/2 (各2)
- 自治体福祉政策論 (2)
- 自治体議会論 (2)
- NPO論 1/2 (各2)
- 市民社会論 (2)
- シンクタンク論 (2)

- 公共政策と非営利セクター (2)
- 社会運動論 (2)
- 国際NGO概論 (2)
- 国際政治の基礎理論 1/2 (各2)
- Asian and Global Politics (2)
- 国際政治理論研究 1/2 (各2)
- 国際開発政策研究 1/2 (各2)
- 国際政治史研究 1/2 (各2)
- 政治体制論研究 1/2 (各2)
- 外交政策研究 1/2 (各2)
- 国際地域研究 1/2 (各2)
- 東アジア政治研究基礎 1/2 (各2)
- アメリカ政治研究 1/2 (各2)
- アメリカ外交研究 1/2 (各2)
- 日中関係政策論 1/2 (各2)
- 平和軍事研究 1/2 (各2)
- 国連・平和構築研究 1/2 (各2)
- 自治体国際政策研究 1/2 (各2)
- 安全保障政策研究 (2)
- 国際情報論 1 (開発とメディア) (2)
- 国際情報論 2 (援助とメディア) (2)
- 国際情勢分析論 1/2 (各2)

<博士後期課程>

- 政治理論特殊研究 I / II
- 政治理論特研演習
- 政治制度特殊研究
- 政治過程特殊研究
- 政治史特殊研究
- 政治史特研演習
- 政治思想史特殊研究
- 政治思想史特研演習
- 行政理論特殊研究
- 行政理論特研演習
- 行政過程特殊研究
- 政策学特殊研究
- 政策学特研演習
- 国際政治理論特殊研究
- 国際政治理論特研演習
- 国際政治史特殊研究
- 国際地域特殊研究 I / II
- 国際地域特研演習